

(会議の経過) 第6回 波賀中学校区 学校規模適正化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	次第3.「①波賀小・幼、野原小PTAアンケート 市への意見・質問に対する市の考え方について」報告
委員	<p>野原小PTAアンケート調査(2回目)を行った結果、9割の保護者から意見をいただいた。今後、2月17日(予定)も参観日当日に総会と地域の懇談会を予定しており、そこで再度、検討していく資料として本日の委員会資料を使用し、具体的な詳細も含めた意見集約を考えている。アンケート項目は16項目とし○をつける形式としたが、結果の主な概要は次のとおりである。</p> <p>① 統合について16項目に関することは、「統合において絶対に必要」「どちらでもない」「他校に合わせてもよい」というような項目選択形式としたが、統合時期については平成26年、27年を希望する方が多く、個別の意見としては野原や道谷の意見が高まるまでは統合しない方がいいのではないかという意見もある。</p> <p>② 小学校の場所は、野原小学校がいいという方、どちらでもいいという意見もあるが、他校に合わせてという意見が一番多い。</p> <p>③ 小学校の校歌・校旗を新しくすることは絶対に必要。</p> <p>④ 制服は新しいデザインにすることが絶対に必要、どちらでもいいが半々である。</p> <p>⑤ 校舎は新築すべき、どちらでもいいという意見が多い。</p> <p>⑥ スクールバスの利用は絶対に必要、一部の保護者は徒歩通学することも望まれているが、飯見地区において、北に向いての通学路の確保は地域の方も通学路としての意識が高いので通学できるが、南に向いては通学路としての意識も低く歩道も整備もされていないことから、道路整備がされるならば徒歩通学に賛成であるという意見もあるが、スクールバスは必要になる。</p> <p>⑦ 3校の交流については、児童は絶対に必要、保護者の交流はどちらでもいいという意見である。</p> <p>⑧ NJAについては統合する学校であるか、野原小学校だけであるかの両方のアンケートをとったが、意見が分かれている。版画カレンダーもどちらでもいいという傾向が強い。統合後、生徒に負担が無いように配慮することは絶対に必要。統合後のいじめ、他に環境の変化に対応する副担任は絶対に必要。地域の方が学校行事に参加し易いようにすることも絶対に必要。</p>
委員	道谷も野原の動きが気になっている部分があり、当初から決めていた時期に実施するのかを、保護者の意見を再度確認したいと思う。
委員	波賀小学校PTA説明会について、1月10日に役員会があるので、1月下旬から2月上旬、あるいは2月14日の参観日で日程の調整をしてほしい。アンケートの内容に関しては事務局と相談しながらしていきたい。即答できる状態ではない。
委員	自治会説明会はどうするか。
委員	役員会でも少し話しをしてみたが感心のない様子だった。
委員	波賀小校区の話し合いをした時も、3校ともに一旦閉校という点について周知が不完全と感じた。大きいところは一緒になるという考えがないこともある。
委員	個人意見だが、PTAや保護者の方には、ずいぶん話しをしてもらっていると思う。波賀小校区の意見交換会で出たように根回しをしていく必要がある。
委員	PTAはPTAで、自治会は自治会長が先頭に立って進めていかないといけない。前向きに統合を進めていこうとしている、道谷、野原地域の方の話し合いや意見を尊重し早急に段取りしていきたい。平成23年度にふれあいミーティングをしてもらったが再度するかな

	ど、連合自治会でも協議もしていく。
委員	自治会役員会ではずっと話をしているが、これ以上どのような話をされるのか。
委員	考え方の周知徹底や、対等合併であることなど、大きな学校が小さな学校を吸収するという認識があり、波賀小学校の校舎を使うのだから校歌や校旗は変えなくてもいいのではないかという意見もある。その部分で市の考え方をきちんと周知徹底していかないといけないと思う。
委員	P T Aではなく、自治会に説明するのか。それをするにより、後戻りするようにならないか。
委員	野原校区ではP T Aの意見を尊重するという部分で、自治会にしっかり周知してもらわないといけない。1番心配するのは他市の小学校のように名前を変えることを聞いていないという周知不足で統合が延期になるという事がないようにしていかないといけない。学校が大きい小さいという点での判断は変えてもらわないといけない。
委員	この委員会で決定するのか、協議会で決定するのか、協議会に移行すべきか、どこで協議すべきかの位置づけをしないといけないと思う。
委員	平成 24 年度末までに委員会としての方向性を出していく確認をしていたが、学校により温度差があり、話し合いが進んでいなかったという部分がある。
委員	次回委員会は1月に開催するのか。
委員	波賀小P T A説明会が1月下旬もしくは2月上旬ということであれば、その後でもいいかもしれない。
委員	協議会に移行する話を総会でかけていいのかははっきりしなければ、総会で決議することがしにくい。1月中か2月上旬にそのことがはっきりしなければ、協議会に移行する賛否がとりにくい。タイムスケジュールも必要ではないか。来年もう1年、委員会をするのか、総会で決めたことを野原は進めるとしても、他の地区が進めないということがないように、足並みを揃えた手順にしていかなければいけない。1月には方向性を決めてほしい。それによって野原の方向性も変わってくる。
委員	時期として26・27年度という意見が出ているが、例えば26年度から実施したいとなった場合、協議会はどのくらいの時期に移行ができれば間に合うのか。例えば来年の10月くらいに方向性を出した場合、短期間で統合ができるのか。道谷としてもP T Aの方たちにもしっかりした意見を聞いていかないといけない時期だとは思っている。道谷はアンケートを記入したら誰が記入したかが分かるため、なかなかアンケートがとりにくい。平成26年から実施したいとなったらどのくらいの時期なら間に合うのか。
事務局	仮に平成26年4月から実施することになったら、学校交流や子どもたちの授業の進度を合わせるなどもあり、子どもたちのためにも1年間はあると思う。また、協議会で決定していく項目もあり、その面でも1年間はあることから、平成25年3月までに方向性を決めていただき、平成25年度初めに協議会を立ち上げ、4月早々に具体の協議をはじめないと難しいと思う。
委員	平成27年が間違いなく、慌てずにできる時期になるのか。
事務局	事務局の思いからいうと平成23年度に小学校区ごとに4回ずつ懇談会をしてきた。例えば、波賀小学校区の懇談会では道谷、野原小学校区の意向に沿うと決めている。今の話の流れによると去年までの話し合いがなかった事になるのではないかと思う。周知ができていないということなら話し合いをしていかなければならないが、この場で方向性を同じように決めていただけるのか。そこを決めないと説明会をただけということになるのではないか。どうしたら1歩進めることができるのか。
委員	早くしたくてもできない場合がある。協議会になり、いろいろな意見が出てくることもあ

事務局	りうる。そうなった場合は時間がかかる。
委員	他市のように話し合いが凍結になることもありうることである。
事務局	協議会は1年と決まっているわけではないのではないか。
	当委員会で概ねの時期と場所は決めていただき進めたいと思っている。その後、協議会に移行した際には、改めてその方向性を踏まえた上で時期、場所を決定していきたいと思っているが、委員会として決定はいただきたい。
委員	学校統合に1年以上はかかる。委員会だよりの「市の基本的な考え方」のところの日程、場所、遠距離通学対策、新しい学校づくり、この部分を委員が納得、理解しているか確認していかないといけない。市の考えは中学校に1番近い小学校を使用しており、具体的には波賀小学校を使用するとなるのだが、遠距離通学になる子どもたちの負担にならないようにしていかないといけない。
委員	車を配備しても距離は現実どうしようもない。子どもたちの負担、学校生活の支障について、反対している方たちを納得させる説明はどのようなものになるのか。遠距離通学を解決するためには、学校の位置を中間地点に持ってくるべきだという話になる。それについてはどのような答えを出されるのか。
事務局	道谷の懇談会でもそのような意見が出た。20km程度あり確かに遠い。時間にしたら25分ぐらいだが、バスなら30分、子どもたちが各地で乗車するため40分程度はかかると思う。小さな子どもにとって長時間の通学は負担になると思うが、慣れるまでは途中で休憩をしながら、また、状況に応じて先生に乗っていただくなどをしながら運行していく必要があると思う。市内の保育所でバスに40分ほど乗車している子たちもいるので慣れていってくれるだろうと思っている。
委員	先生も同乗してもらうことにより、随分違うと思う。詳細は協議会で決めていくことになるとは思うが、地域の方が必要だということであれば他のことも含めて工夫していくことになるだろう。
委員	波賀小学校を起点にするということは絶対の条件になるのか。反対意見が多い場合でもなるのか。
委員	そうすると統廃合は休止になるだろう。老朽化で波賀小学校校舎を建て替えないといけないとなると話は別になると思うが、波賀小学校を使うことは住民も賛成していると思っている。
委員	野原、道谷の児童が一緒になっても、波賀小学校舎が使えるなら、使えるものは使わないといけない。
委員	当会では徐々に市の基本方針の方へ進んでいる。道谷小、野原小の課題をいかに取り除くか、解決するか。理解を求めて適正化に踏み切るかの方向に努力しているのではないかとと思うが、いつも話が元に戻っている。項目を確認し、決めていかないと、自治会に話をした時にややこしくなる。この委員会で1つずつ決めていかないと前に進まないと思う。この委員会で決めていけることは決めていったらどうか。
委員	中学校に近いということに、どのようなメリットがあるのか分からない。
事務局	小中連携教育を目指していることもあり、中学校、小学校が近い位置にあるほうが、今後、小中連携を進めていく上で有効であると考えている。
委員	一般の保護者意見として、波賀小について、積雪時にあの坂を車で上がるのは嫌だし、そこを子どもたちがスクールバスに乗って通るのも嫌だ。狭いし、怖い。徒歩通学の子どもたちも車が通ると危険だと思うというものもある。
委員	事務局からも水を流して凍結防止をするという説明もあった。危ないのはスクールバスが通るルートにもよるのではないか。

事務局	案は持っていないが、臨機応変に対応していかないといけない。安全なルートを考え、冬場は芥木から上がるのが安全ではないかと思う。
委員	除雪をいかに早くしていくかも重要だと思う。
事務局	要望もあり今年から大きな除雪機を配置した。作業は教職員がしている。
委員	委員の中だけでも場所の賛成がないと理事会、協議会の賛成が難しくなってくるのではないか。
事務局	危険な場合は子どもたちに坂の下で降りていただき、歩いて登っていただくことも選択肢にあるのではないかと思う。例えば、同じような問題が一宮北中校区でもある。北中校区は三方小学校校舎使用を提案しているが、三方小学校も高台にあり波賀小より坂道が狭い。バスが上がるような道ではなく、心配の意見が出ている。坂の下で広いところを確保など、運動場を削って道を広くする方法もあるが、デメリットもある。一宮北中校区の課題として、地域の方と協議していきたいと思っている。
委員	道谷は場所の心配はあまりする必要はない。道谷は27年をこえると児童数が4人しかいなくなるので、地域としては27年度と決めている。道谷PTAとして自治会の方にも了解を得た時期が平成27年である。それに向けての話し合いを十分にしていけないといけないとは思っている。
会長	道谷は27年、野原は26年としているが、その点のすり合わせはできるか。
委員	道谷はPTA役員も少ない。個人的には数年前から早く統合した方がいいとは思っていたし、他の保護者も多い人数の中で通わせたいと思っている人もいるだろうと思う。
会長	市の考え方の中学校に近い波賀小学校校舎の使用は賛成でいいか。
委員	活性化会議があって出席していたが、北部は活性化といっても限界がある。小学校、幼稚園の問題でも、結局は人を呼び込み、帰ってきてもらうのは不可能な状況である。跡地利利用が活性化に繋がるのであれば、かなりの自治会の方は賛成すると思う。まちづくり協議会と教育委員会ですり合わせ、利活用を同時に決められるのであれば、スムーズに進められるのではないかと思う。
会長	学校の跡地利活用については資料にもあるように、まちづくり協議会や別に市で協議会などをつくって進めていくということになっているが、地域の方を中心に進めていくという認識はしている。
事務局	行政としては方向性が決まってから跡地の利活用を考えていきたいと思う。地元の方の意見も聞きながら進めていくべきだと思っている。方向性が決まらなると利活用を考えていくのは難しい。
委員	波賀小を利用することが決定した場合、その後のことを考える場をつくっていくということか。北部もリスクを背負うと思っていてほしい。
事務局	行政だけの考えでは地元の理解を得られないと思うので、地元の方にも入っていただき考えていきたい。
委員	波賀小の校舎を利用することになれば、いろいろなことを考えて子どもたちに負担が無いように考えていかないといけない。波賀小校区の自治会、PTAの方にどれだけの周知が行き届いているかを確認し、徹底した話し合いをしてほしい。
委員	もし、道谷、野原、波賀小の子どもたちが集まり、野原小学校校舎を利用するとなった場合、野原小校舎の規模で人数的なキャパは対応できるのか。
委員	教室が狭いので30人は難しいだろう。何年か経ったら人数が減り可能かもしれないが。
会長	波賀小学校校舎を使うことは賛成でいいか。
委員	野原を提示したのは野原に来てもらえたら嬉しいが、波賀小校区の方のアンケートを見ると、野原、道谷が来たいのだったら来たらいいという感覚がある。波賀小の子どもたちも

	<p>入れてあげているという思いがあるだろう。子どもも、親も一からのスタートという理解がないともめ事に繋がってしまうのではないか。子どもは自分たちの場所に他所から来ているという感覚は持つと思う。野原を提示したのは波賀小校区の方にも新しい学校になるのだという意識を持ってもらうために提示した。</p>
委員	<p>いじめだけは無いようにしていかないといけない。統合について十分、慎重に考えてもらいたい。保護者が心配しているのはその部分である。</p>
会長	<p>波賀小校区も理解していただけるか。</p>
委員	<p>この会に出席している自分たちは十分に理解できるが、どれだけ他の保護者に理解していただけるかは分からないが、時間はかかると思う。時期として27年という話は理解している。道谷小がなくなる時期に統合となってしまうと統合する意味がなくなってしまう。3校が対等な形で1つの学校にするという形態にしたいので小学校をなるべく早くまとめたいという思いはある。その思いがあることだけ理解しておいてほしい。</p>
会長	<p>自治会にも周知していただき意識改革していかないといけない。</p>
委員	<p>今から新しい学校をつくっていく気持ちで取り組んでいただけたらいいと思う。例えば野原ならオーストラリアとの交流もあるが、協議会などを立ち上げて真剣に考え、魅力・特色のある学校づくりをしてほしいと思う。</p>
委員	<p>野原小学校のオーストラリアとの国際交流は、平成元年に野原小学校と統合した時に、存続に反対の意見がでたらしいが、1度経験したら楽しくなり、その後は積極的にされているので、お互い特徴のあることは、1度、経験してみて判断してもいいかとも思う。</p>
会長	<p>オーストラリア交流などは協議会で検討されることになる。</p>
事務局	<p>野原、道谷小学校区においては、時期は別として地域と保護者の方向性をまとめていただいていると思う。波賀小校区は意思決定していただくためにはどうするのか。波賀小校区の保護者の方が方向性を了解した場合、自治会は追認する方向に持っていつてもらえるか。</p>
会長	<p>保護者の方々に吸収という理解だけではないようにしていただきたい。</p>
事務局	<p>もちろんである。野原、道谷小の子どもたちのことも十分な理解をしていただき、ゼロからの新しい学校を波賀地域全体でつくっていく気持ちになっていただかないとこの話はないものだと思う。説明が必要なら教育委員会が説明に行くような手法もある。その部分は別途、協議させていただき、それを前提に自治会長から地域に同時並行で話ができないものかと思う。</p>
委員	<p>自治会にそう言ってもらえるなら心強い。PTAの方向性が決まったら、その方向性を応援していただけるのかなと思う。</p>
事務局	<p>波賀小学校区の保護者の理解を得ることが一番になる。その次に地域がどのような判断をするかになる。野原、道谷の進捗が進んでいる。波賀小学校区も自治会にお願いし、小学校PTAの動きも知らせながら、最終的に地域としての判断をいただかないといけない時期が来ていると思う。</p>
事務局	<p>1月10日を念頭に日程を調整させていただき、波賀小学校PTAの方に話をさせていただきたい。そうしていかないと話が進まない。</p>
会長	<p>自治会や波賀小校区で意見交換し協議したい。第1回目の協議では押し付け感がでてはいけないので、市民局長だけに参加してもらった。次は事務局も入ってもらおう。</p>
委員	<p>教育委員会も入ってもらった方がいい。</p>
会長	<p>その点は調整していき、波賀小地区でさせてもらう。</p>
事務局	<p>野原、道谷にも行かせてもらった方がよければ行かせてもらう。</p>
委員	<p>PTAというより自治会側に必要だと思う。</p>
会長	<p>説明会が必要ならば調整は可能である。</p>

委員	次回開催日はP T A説明会の件もあり 2月になってくると思う。3月に結論を出さないといけないのか。
会長	実施時期として平成26年度という話も出ており、年度がかわったら、自治会長もP T A役員も交代するので今年度末までにはしないとといけないと思う。幼保一元化についても本年度に方向性を出すことになっている。
委員	P T A決議を出すのは総会になるので、3月にどうしても決をとるという事であれば保護者側でも決をとる必要がある。それを見据えてしていかないといけない。現状では1月にあつまっても議題がなさそうであり、野原小校区も総会で話すしかすべがない。それが無理なら時期を延ばすほうがいい。
会長 事務局	委員には平成25年3月末までにと確認はしたが、市の方はどうか。 議題は少ないかもしれないが1月中に一度集まっていたきたいと思う。その時に具体的にいつ頃、どのような姿勢で望んでいくのかを決めていただき、波賀小校区のP T Aの方に説明できたらと思う。野原、道谷の理解が得られ、子どもたちのために方向性を決めるなら、それはそれでいいと思う。
会長 事務局	波賀小校区の体育館については段差があり改修工事をする話が出ているので、波賀小校舎を使うことに同意を得られたら一緒に進められると思う。 できるならば1月に集まってほしい。大きな方向性として、波賀小校舎を使うことに野原小、道谷小の方が理解していただけるのなら、十分な協議をしていけたらいいと思う。
委員 事務局	波賀小校舎を使うことを承諾した場合、委員の負担が重い。 ここまでまとめてくださってきたのに、ここで地域の反感をかうことは避けなければいけないとは思っている。
	※次回委員会開催日 1月24日(木)7時30分